

## 2019年度 推薦入学試験（体育推薦） 法学部 地域行政学科「出題の意図」

### 1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
7	7

※志願者数・合格者数は、指定競技推薦を含む

### 2. 地域行政学科 アドミッション・ポリシー

本学科では、入学者に対して、高校卒業程度の基礎学力を身につけていることに加えて、特に以下の点について適性と意欲を持っていることを望みます。

1. 地域社会の出来事から、広く世界の情勢にまで関心を持ち、常に問題の本質を見極めようと努力する人物。
2. 何事に関しても、しっかりと自分自身の考え方を育てるように学習し、同時に、他者との意見交換を通して、議論を建設的に発展させ、異なる考え方からも学ぼうと努力する人物。
3. 将来、自ら選んだ職業を通して地域に貢献することを希望し、それへ向けての努力を厭わない人物。

地域行政学科は、行政・民間部門において政策を企画・立案し、実務に対応できる人材、より深い見識と広い視野を身につけ、地域社会の発展に貢献できるような人材の育成を目指します。

特にA O型入学試験において、私たちは高い志を有し、地域や社会の動きに目を向け、行動力を有する情熱ある志願者を求めます。

これまでの勉強や部活動で得たもの、あるいはこれからの夢を、自分の言葉で表現できる能力を高く評価します。

### 3. 出題の意図

出題の意図はスポーツ推薦で地域行政学科を志願する受験生として沖縄県における行政課題について日頃から新聞などを通してどの程度、関心を持っているかをみるものであり、小論のテーマを通して行政の視点、県民の視点そしてスポーツをやってきた高校生の視点から論ずることができるか問うものである。さらに、与えられた「表」をどこまでうまく使い、読みこなしながら論ずる力があるかを問うものである。単なる知識を問うものではなく、与えられた課題に対してどのような論理展開で説得力ある論述ができるかをみたい。

新聞の記事を基に出題したのは、新聞記事には毎日のように、わが国の行政は勿論のこと、沖縄県の行政について大きく取り上げられている。地域行政学科で学びたい受験生であれば、行政関連の記事は読んでほしいという願望も込めての出題である。

### 4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

小論の場合、字数が600～800字の場合、750字ぐらいは書くのが望ましい。小論の場合は、単なる知識があるどうかを問うのではないので、いろいろな視点から与えられたテーマを論ずることを日ごろから、練習する必要がある。採点者を納得させる小論を書くには文章表現力が必要であることは言うまでもない。そのためには、日ごろから新聞などを読む習慣をつけることも大切である。新聞を読むことで語い力に豊富になり、小論の基礎力にもなる。